

講義コード	11C0123900	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	連見 雄	開講期	第1期
科目名	EU経済論1 / EU経済A						連見 雄	第1期	
履修前提条件					備考				
授業の目的	<p>ヨーロッパにおける経済活動は、EU (European Union = 欧州連合) という独自の地域統合が生み出した単一市場と共通のルールの下で営まれている。このため、ヨーロッパ経済を理解するには、EUの基本的な仕組みを学ぶことが必要である。EUは、経済危機をきっかけに、超国家的な金融システム作りを始めている。このように、新しい超国家的な制度構築に取り組むことができるのは、ヨーロッパ以外の地域協力では見られないEUならではの特徴である。EUは、広域地域レベルで市場を支える制度(地域統合)を構築することによってグローバル化への適応を図ろうとする独自のモデルであり、本講義ではEU経済の基礎について学ぶ。</p> <p>なお、EU経済Bを受講する予定の者は、EU経済Aを受講しておくことが望ましい。</p>								
到達目標	<p>(1) ヨーロッパ経済を支えるEUの制度的な仕組みに関する基礎知識。 (2) 国境を越える経済ガバナンスにおけるEUの役割を学ぶ。 (3) ユーロを支える制度構築の現状と課題を理解する。</p>								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<p>授業外学修を推奨する観点から、テキストの主な該当箇所を示す。ただし、より深く学べるように独自に作成した講義資料に基づいて講義を行うので、講義内容はテキストの目次構成とは必ずしも一致しない。授業外学修の内容については、授業計画を参照。予習40時間、復習20時間を想定している。</p>								
授業計画	<p>各回の講義内容は、以下の通り予定している。ただし受講生の理解度や進行速度の関係で、若干前後する場合もある。なお、授業は主としてパワーポイントを利用して行う。資料はwebclassで配布するので、各自で印刷し、予習してから授業を受けること。また、EUの制度は相互に深く関連しているので、復習してから次の授業の臨むこと。</p> <p>【第1回】イントロダクション：講義の概要と狙いー不戦共同体+経済共同体 [授業外学修] テキスト1～24頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第2回】経済のグローバル化と地域統合：メガ・リージョンの時代 [授業外学修] 第1回授業で配布する資料の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第3回】ヨーロッパ経済を支える機構＝EUのしくみ [授業外学修] テキスト25～40頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第4回】関税同盟と共通通商政策：関税同盟の効果と限界、70年代の停滞、非関税障壁 [授業外学修] テキスト42～46頁、83～96頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第5回】市場統合：単一市場下における寡占体間の競争を促進する [授業外学修] テキスト47～59頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第6回】競争政策：公正な競争空間を確保する [授業外学修] テキスト97～99頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第7回】産業政策：垂直的産業政策から水平的産業政策へ、欧州2020戦略 [授業外学修] テキスト176～194頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第8回】授業内テスト及び解説/質疑応答 ここまでの内容について授業内テスト(60分)を実施し、終了後にテスト内容について解説を行う。また質問を受け付ける。</p> <p>【第9回】ドルからの自立の試み：スネークの挫折からEMSの安定へ [授業外学修] テキスト106～118頁、429～430頁の予習</p> <p>【第10回】単一市場から通貨統合へ：one market, one money [授業外学修] テキスト119～128頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第11回】ユーロを支える制度：経済通貨同盟の基本構造 [授業外学修] テキスト129～140頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第12回】市場統合と金融機関の再編、配布資料と講義の復習 [授業外学修] テキスト195～216頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第13回】ヨーロッパ金融・資本市場の統合・分裂とユーロ危機 [授業外学修] テキスト211～216頁、298～306頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第14回】ユーロ危機と新たな制度の構築 [授業外学修] テキスト217～225頁の予習、配布資料と講義の復習</p> <p>【第15回】ここまでの内容について授業内テスト(60分)を実施し、終了後にテスト内容について解説を行う。また質問を受け付ける。</p> <p>なお、進捗状況により内容は前後する。</p>								
成績評価の方法	<p>第8回に行う予定の授業内テスト45%、第15回に行う予定の授業内テスト45%、平常点10% 成績評価基準は、以下の通りであり、これを問う授業内テストを実施する。</p> <p>(1) EUという超国家組織のしくみと加盟国との役割分担について基礎知識を習得できているか。 (2) 市場統合と競争政策の補完関係について理解できているか。 (3) EUが市場統合と共通通貨を目指した理由を理解できているか。 (4) ユーロ危機の金融市場一般の要因とユーロ固有の要因を区別して説明できるか。 (5) ユーロを支える制度が、どのように進化をとげつつあるかを理解できているか。</p>								
フィードバックの内容									
教科書	『現代ヨーロッパ経済 第4版』田中 素香、長部 重康、久保 広正、岩田 健治(有斐閣) 2014								
指定図書	『欧州統合と社会経済イノベーション』八木紀一郎他(日本経済評論社) 2017、『EUとは何か(第2版)ー国家ではない未来の形(第2版)』中村民雄(信山社) 2016、『知識ゼロからのユーロ入門』小島健(幻冬舎) 2016								
参考書									
教員からのお知らせ	全て講義形式による。授業運営の詳細については、初回授業時間中に改めて説明するが、配布資料を前日までにWwebClassに掲載する。空欄の部分を写しただけで理解できるわけではなく、講義を通じて、その空欄部分が重要である理由について理解し、空欄の部分以外でも重要なところはノートをとるよう心がけてほしい。								
オフィスアワー	授業後、次の授業に支障のない範囲で対応します。								
その他	2017年9月22～24日、八王子セミナーハウスで、本講義担当者を含む7人のEU研究者の指導の下に、約100名の学生が学ぶ第6回EUセミナーが開催される。興味のある方は、積極的に参加して欲しい。 http://www.seminarhouse.or.jp/seminar_kaisaiichiran/eu_top.html								